

20年かけて育んできた 児童・生徒・学生たちとの時間が 社内に強いつながりを醸成した。

(清川メッキ工業株式会社 専務取締役 清川卓二氏)

取り組んだきっかけは?

今から25年前、「社員の子供達に仕事を見せたらどうか」という思いからスタートしました。当時、私は20代。父親が興し育ててきた会社を兄弟でさらに発展させたいとやる気に満ちていた一方で、社内は活気を失っていました。創業から新卒採用はゼロ。「キツイ・汚い・危険」という3Kのイメージが根強いめっき屋は、若い人が希望を持って入社したいと思える業種ではありませんでした。

人を採用しても育てる風土がないから定着しない。慢性的な人手不足で残業も多く休日も少ない。社員みんな疲れ果てていました。何とかせんと…そう思った時ふいに「子どもに仕事を見せたらどうか」という考えが浮かびました。

実際に取り組んで変化はありましたか?

数字的なことで言えば、取り組んだ当初40%だった新入社員の離職率が、地域の子供達を受け入れた2年目で15%まで下がりました。社員はここ12、3年で100名ほど増えましたが、現在の離職率は平均1.8%とかなり低い数値を保ち続けています。

その理由は何でしょうか?

最大の理由は、やはり職場に来た子どもたちの純粋な反応に接したことです。社員の中に小さな誇りが生まれ、その体験が面白くなった中堅社員

が、今度は若手に教え始めました。子どもたちからの「ミクロンってどのくらい小さいの?」「めっきの仕事って面白い?」といった素朴かつ鋭い質問を受け、自分なりに答えを出す大変さと面白さを繰り返す中で、「めっきという仕事を伝える技術」と「仕事の本質をとらえる思考」を、教え・教えられる関係性が育っていきました。

ここまで続けられた理由は何でしょうか?

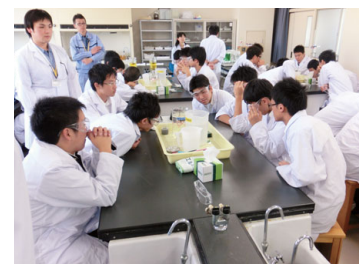
第一に子どものためでも、社会のためでもなく、「社員のために取り組む」というスタンスにあると思います。次に「会社が存続できるのは社員のおかげ、そして社員が仕事ができるのは、家族のおかげ。家族へのおもてなしだと思ってやってみよう」と、スタートはある意味トップダウンの指示でした。中堅の上司層から巻き込んでいったからこそ、その後若手にも無理なく伝播していきました。もし初めから全社員を対象にしていたらうまくいってなかったでしょうね。

これから取り組まれる企業へ メッセージをお願いします

何も知らない子どもたちと真剣に向き合う機会が、社内の一人ひとりを強く結んでくれています。「教えることは学ぶこと」を子どもたちから教わったことで、自分の仕事の本質を深め、それが世界で生き抜くための力になっていると感じています。



小学生を対象とした「めっき教室」。その他、小学生から大学生まで、職場体験やインターンシップなど様々な形態で毎年社内に受け入れている。



理系の高校生を対象とした「めっき実験」。ものづくりの面白さと仕事の大切さが伝わるよう、担当する社員一人ひとりが自分なりに考えて挑む。



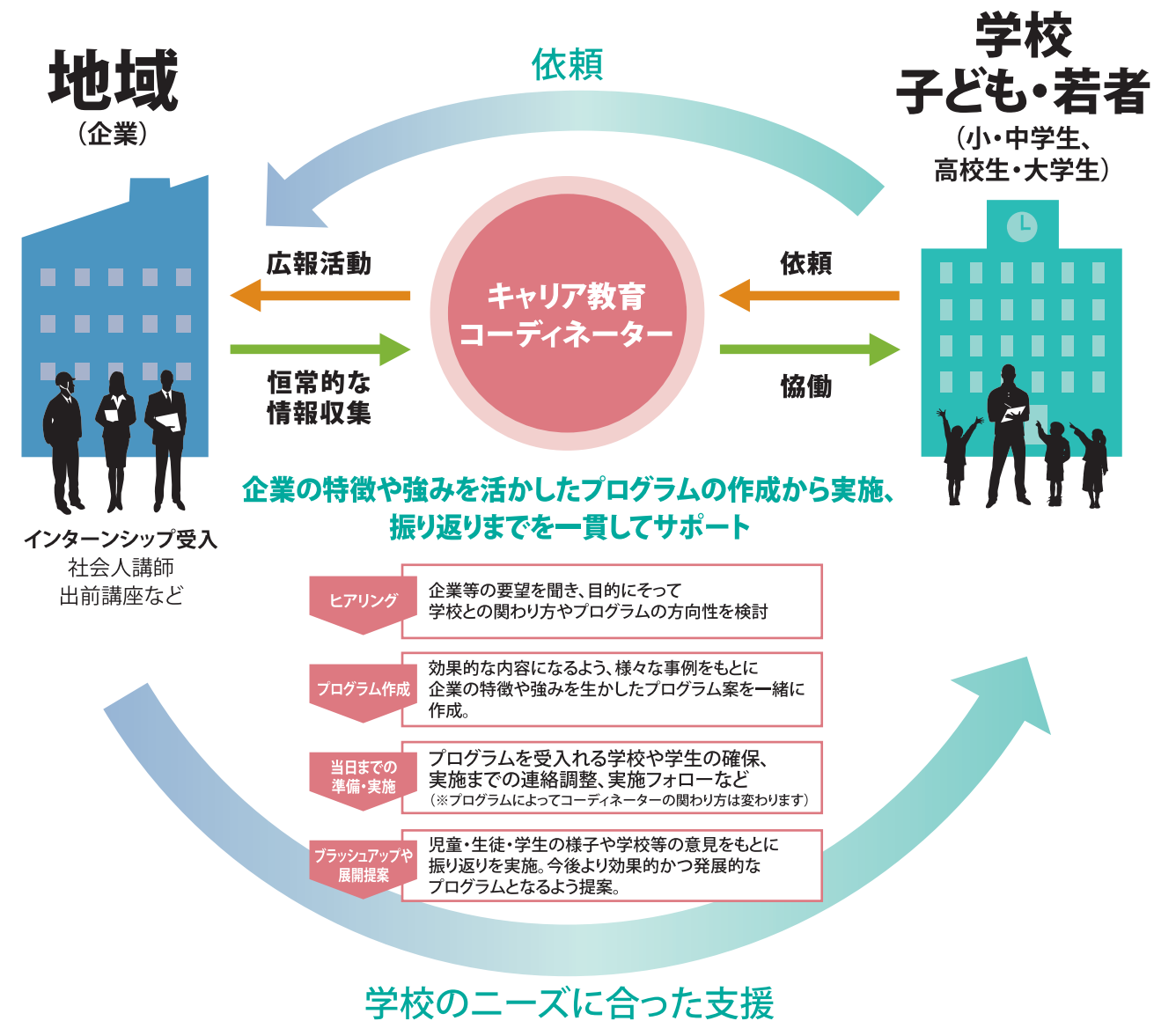
工場ではいつでも児童・生徒の見学を受け入れることができるよう説明用のパネルを常時設置している。職場体験・見学が当たり前になるにつれて社内の「5S」も徹底されてきた。

プログラムの作り方が分からない! 何を準備すればいい? 『キャリア教育コーディネーター』に 相談しませんか?

キャリア教育
コーディネーター
とは?

学校、子ども・若者(小・中学生、高校生・大学生)と
地域(企業)をつなぐ専門家です。

学校と連携したプログラムやインターンシップの実施には、
キャリア教育コーディネーターを活用することでよりスムーズに、効果的なプログラムを行うことができます。
具体的には以下のようなサポートを行います。



【プロフィール】 清川メッキ工業株式会社

清川メッキ工業は平成17年度に行われた「第1回ものづくり大賞」において特別賞を受賞。地域産業担い手育成プロジェクト企画評価委員(文部科学省)、中小企業政策審議会経営支援部会小委員会委員(経済産業省)、福井県商工会議所連合会青年部連合会会長、福井市環境アドバイザー、福井県ものづくり学習指導者、キャリア教育における外部人材活用等に関する調査研究協議会委員(文部科学省)等要職を務め、企業人として「ものづくりの人材育成」に力を注いでいる。自身が会長を務めた福井商工会議所青年部が主催する「福井YEGアントレ・キッズ」は平成19年度にキャリア教育優秀団体として文部科学大臣表彰を受け、その後平成23年にも経済産業省主催「第2回キャリア教育アワード」地域ネットワーク型キャリア教育部門の最優秀賞(経済産業大臣賞)ならびに大賞を受賞している。

NPO法人アスクネット [愛知県で唯一の認定資格「キャリア教育コーディネーター」の育成団体です]

名古屋市熱田区沢下町8-5 愛知私学会館東館3F

TEL: (052) 881-4349 FAX: (052) 881-5567 Email: info@asknet.org http://www.asknet.org